

提案会	佐賀会
1	各県会の広報部にて行っている活動について
まとめ	各会から、現在取り組んでいる活動内容の回答をいただき情報共有をした。
提案理由	各単位会又は各支部においての広報活動報告をお願いしたい。
	現在の佐賀県会の広報活動状況が他県会の皆さんとどのような違いがあるか？
大分会	①制度広報・・・新聞広告（憲法記念日、暑中・残暑見舞い、新年広告）、職業紹介活動（学生向け等）②ネット広報・・・ホームページ管理運営体制の充実及び情報提供③会報・・・年1回刊行
熊本会	<ul style="list-style-type: none"> ・「地上絵プロジェクト」実施とマスコミへの情報提供 ・ポスター、ノボリの制作 ・会報の編集作業、発刊 ・工業高校 出前事業の計画 ・土地家屋調査士PR動画の制作 ・専門8土業連絡協議会との連携、協力（熊大講義、無料相談会） ・職業紹介事業への参加 ・無料相談会新聞広告、HPへの情報提供
宮崎会	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業 地上絵プロジェクト（小学校、高校） ・宮崎県専門土業連絡協議会による「なんでも無料相談会」（年1回 県内3会場） ・宮崎市の「おくやみ冊子」への広告掲載
鹿児島会	7月31日調査士の日に各支部長の事務所へのぼり旗を出して相談会実施。10月1日法の日各支部で司法書士会、税理士会と合同で無料相談会を実施。
沖縄会	沖縄会は、毎年ほとんど同じ事業計画で、全国・・・無料相談会の新聞広告等と会報の発刊が主な活動で、今年は昨年に引き続きホームページの充実に取り組んでいますが、他に積極的な広報活動は予算の関係もあり行っていません。
福岡会	無料相談会。社会連携講座として西南学院大学で土地家屋調査士の講座を開設しています。ポスターを作成し、各協力団体に働きかけ設置しています。
長崎会	テレビ長崎とFM長崎が主催する「ラブフェス」というイベントにスポンサーとして参加（テレビ、ラジオCM、イベントブース出店）。出前授業。各種無料相談会

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	熊本会
2	各県会のテレビ・ラジオ番組、CM、デジタルサイネージ等の広告実績、費用を教えてください。特に受験者増加のための対策として、調査士試験や調査士制度の広報などを実施していることがあればおしえていただきたい
まとめ	様々な内容の活動報告があった中、実際におこなっている広告資料を持参していただきたいへん参考になった。またデジタルサイネージ等による広告で15秒の時間で伝える企画については今後一目すべき課題かなと感じた。
提案理由	
大分会	今年度は地元広報誌の出版する小学生向け（県下小学5年生全員に配布）の職業紹介本（約40業種紹介、カラー見開き2頁）に参加しました。そのプロモーションの一環として15秒TVCM20本が放映されました。反響等をみて来年以降の継続を検討する予定です。（費用330,000円）
宮崎会	メディア等への広告実績はありません。 昨年は70周年ということで、全会員名を掲載した新聞広告を出しました。（¥798,020-） 受験者増加対策として「マンガでわかる土地家屋調査士成長物語」を配布予定。 配布先等については、現在検討中。
鹿児島会	テレビ、ラジオ等なし。鹿児島支部で市役所の住民票等を入れる袋に広告掲載。部数費用は20万円
沖縄会	沖縄会では、情報伝達機関等を使っての広報活動は行っていません。 調査士試験や調査士制度の広報については、ホームページで「調査士になろう」とのボタンをトップにおいて、その中に詳細説明を公開しています。
福岡会	西日本新聞社と題字下広告掲載を年間契約しています。また受験者支援のために東京法経学院と提携し受講料割引のため広報活動サービスをしています。
長崎会	ラブフェス関係のテレビ、ラジオcm、出前授業 ラブフェスのスポンサー費用2017～2019年 各¥561,600-。（企画50万、テレビCM制作2万、税8%） 長崎新聞 「2020 Nagasaki 95 Leaders' Voice Top Interview」で会長インタビュー掲載
佐賀会	佐賀会 テレビ出演は7/31の無料相談会の案内告知のため、1回だけ地元のサガテレビの30秒のワンコーナーであるテレビ宣伝隊というコーナーに毎年出演している。費用はかかっていない。それ以外では、テレビ、ラジオ、CM等を行っていない。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	鹿児島会
3	広報看板の維持・管理に関して
まとめ	看板形式による広告は管理が難しく撤去についても（一基30万円かかるなど）これから設置の検討をすることは難しいようでした。
提案理由	・維持・管理をどのようにしていますか。 ・今後、新設の予定など。
大分会	設置しておりません
熊本会	熊本会では、平成11～18年に県内6か所に野立看板を設置していたが、経年劣化と、近年の自然災害、管理面を鑑み、平成30～令和2年度にかけて、撤去しました。新設については今のところ予定はありません。
宮崎会	広告看板等はありません。
沖縄会	沖縄会は、マンションの2部屋分（約3LDK×2の広さ）を購入して事務所・会議室等に改修して活動しており、マンション外壁に大き目の看板を設置し、会の入口にも立て看板を設置しています。それ以外では、横断幕、縦断幕を作った時期もありましたが、今はのぼりとハッピーで活動しており、その保管管理は倉庫で行っています。
福岡会	現在、設置していません。
長崎会	のぼり、法被、ビブスを事務局が管理している。新設の予定なし
佐賀会	佐賀会 看板等設置していない。今後も設置の予定はない。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	佐賀会
4	土地家屋調査士の日（7/31）の無料相談会の実施状況報告をお願いしたい。
まとめ	今年度はコロナ禍により実施を中止、縮小をなつたものの、各会では個別に個人事務所に振り分けて実施、電話相談による実施と、さまざまなアイデアを駆使し相談会を実施しました。
提案理由	佐賀会 昨年、今年とコロナ渦の影響もあり会場の手配に大変苦慮した。例年では県内6～7カ所にて行ってきたが昨年は2カ所、今年は4カ所しか確保できなかった。相談件数については、カ所数の減少に伴って件数も減るかと思っていたが総件数は例年とほぼ変わらなかった。新聞広告とテレビ出演の効果が出てきているのかと思っている。
大分会	例年各支部単位（10支部）で会場を借りて相談会を行っていましたが、昨年と今年は調査士会事務局にて10時から16時まで調査士2名が在席して電話相談のみで実施しました。【社会事業部】
熊本会	（無料相談会は社会事業部の事業ですが）近年は、デパートの通路部分にブースを設置し、相談会を開催していましたが昨年度、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。
宮崎会	9/2（木）に実施予定だったが、コロナウイルス感染拡大の影響により中止。
鹿児島会	各支部長の事務所にのぼり旗を掲げて相談会を実施。例年2, 3件の相談あり。
沖縄会	沖縄会では、コロナの影響で時期をずらし、8月4日から6日まで電話受付をし、同11日から13日に協力会員の事務所での相談を実施しました。 受付人数は合計20人で、当日キャンセルした方が8名、協力会員20名に割り振りして行い、境界に関する相談9件、調査士業務に関係のない相談が3件ありました。
福岡会	電話対応による相談会を実施しました。
長崎会	7/31 相談件数 2件（遺産相続・土地境界）電話予約要 8/1 相談件数 6件（遺産相続3・土地境界3）
佐賀会	佐賀会 昨年、今年とコロナ渦の影響もあり会場の手配に大変苦慮した。例年では県内6～7カ所にて行ってきたが昨年は2カ所、今年は4カ所しか確保できなかった。相談件数については、カ所数の減少に伴って件数も減るかと思っていたが総件数は例年とほぼ変わらなかった。新聞広告とテレビ出演の効果が出てきているのかと思っている。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	熊本会
5	無料相談会の広告についてどのようなことをされているか、なにか工夫されていることがあれば教えていただきたい。また、災害が発生した場合の緊急無料相談会を実施する場合に備えて、準備されていることがあればおしえていただきたい
まとめ	無料相談会広告は様々な意見回答がありました。災害時の無料相談会は社会事業部による実施であったり、災害協定の締結による実施であったりと実施状態は各会によって違いがありました。そのなかで災害対策引当預金を準備し災害時の基金としていることに感心しました。
提案理由	災害時の迅速な対応を求められる中どんな対応をしていますか
大分会	無料相談会の広告方法として地元紙の新聞に広告を入れています。共催として県公嘱協会に広告費用の半分を負担してもらっています。無料相談会としての効果は薄いとは思いますが、土地家屋調査士自体を広く知ってもらうための広告として毎年入れるようにしています。 大分県との災害協定において無料相談業務を規定しています。災害時の基金として毎年「大規模災害基金準備金」を繰入し特定資産の「災害対策引当預金」を準備しています。【社会事業部】
宮崎会	ホームページに掲載。 県市町村等へポスター・チラシの配布。 災害発生時の準備はしておりません。
鹿児島会	広告内容については定型ですが、相談者が訪問しやすい土日に実施するようにしている。災害協定を締結している市町村との具体的な緊急時の無料相談会等の準備はない。
沖縄会	沖縄会では、本土新聞を取っている家庭が極端に少ないため、本島、離島にある郷土紙4社を使っていますが、例年は本紙面ではなく週1回発行される住宅新聞の中に6センチ角程度の案内広告を載せていました。しかし、今年は調査士法第1条が使命に改正されたこともあり、本紙面に3段抜きで大きく広告を出しました。費用は約50万円。それ以外では、各市町村の広報誌やスーパーの掲示板等へ日調連の作成ポスターを掲示してもらっています。 災害が発生した場合に備えての準備はなにもしていないのが現状です。
福岡会	西日本新聞社の題字下広告。各自治体ホームページへの掲載。県会ホームページ掲載。災害時スムーズな連絡ができるよう電話連絡網を作成しています。
長崎会	緊急無料相談会の予定はありません
佐賀会	佐賀会 告知については新聞広告とテレビ出演のみ。緊急無料相談会については何の準備も行っていない。検討も行ったことがありません。

提案会	宮崎会
6	無料相談会の回数、1回あたりの相談者数など
まとめ	各会から実施状況の報告をいただきました。
提案理由	
大分会	大分会主催の無料相談会は調査士の日の1回のみです。相談件数は昨年が7件で本年は4件と相談件数は減少しています。しかし当会には境界問題相談センターがあり、常に相談できる環境は作られている事も相談件数に影響していると考えています。【社会事業部】
熊本会	(無料相談会は社会事業部の事業ですが) 土地家屋調査士の日無料相談会、法の日無料相談会、司調の青年会が主体になって行っている「不動産トラブル110番」、専門8士業が合同で行っている無料相談会(例年、勤労感謝の日ごろに行っている)がある。開催場所により、相談者数にばらつきがある。土地家屋調査士単独の相談は少ないものの、多士業と絡んだ事例が多い。(司法書士、不動産鑑定士、税理士など)
宮崎会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国一斉不動産表示登記無料相談会 令和2年 3名 令和1年 26名 平成30年 28名) ・宮崎県専門士業連絡協議会「なんでも無料相談会」 令和2年 5名(宮崎会場 3名、延岡会場 1名、都城会場 1名) 令和1年 17名(宮崎会場 9名、延岡会場 6名、都城会場 2名) 平成30年 17名(宮崎会場 9名、延岡会場 6名、都城会場 2名)
鹿児島会	法の日の無料登記相談会については、本年は16会場を実施し、32名の相談があった。鹿児島市では月に1回の無料登記相談を行っているが、2、3件の相談あり。
沖縄会	全国無料相談会以外での無料相談会は、沖縄会単独では行っていません。ただし、法務局の無料相談会、他士業等の合同での無料相談会は毎年1回行っており、1回当たりの相談者数は平均して15件ほどと聞いています。それ以外では、県市区町村から要請がある時に個別に行っているのが現状です。
福岡会	福岡会では毎年、年間58回無調相談会を実施していて、過去3年の相談件数は459件で、1回の件数は7~8件です。
長崎会	<ul style="list-style-type: none"> ①全国一斉不動産表示登記(7/31前後) H30-12件、R1-11件、R2-3件 ②1日合同行政相談所(10月) H30-3件、R1-2件、R2-中止 ③専門家による何でも(12月) H30-3件、R1-2件、R2-中止 ④住まいの終活フェア(2月) H30-4件、R1-3件、R2-中止・・・1回あたり相談者3件程度
佐賀会	佐賀会 7/31の無料相談会については、総相談数は10~15件程度。佐賀会では毎月1回佐賀市役所にて半日無料相談会を実施しており、こちらは半日で1~2件程度あります。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	佐賀会
7	調査士会報の現状と対応についての報告をお願いしたい。
まとめ	熊本会、佐賀会より実際の会報を持参いただきました。ありがとうございました。会報の題材はどれも苦慮しているようです。貴重な情報提供をいただき今後の会報編集にいかしたくおもいます。
提案理由	
大分会	発行回数：年1回、作成部数300部（会員数172名）、内容（会長挨拶、法務局長挨拶、各部報告、新入会員紹介、トピック【支部活動、会員活動2,3本】等）昨年は70周年記念号としての話題中心でした。
熊本会	年2回（8月、1月）発行。A4全頁カラー、本文広告ページ併せて約85ページ。発行部数400部支部の広報委員9名、役員3名で編集作業。
宮崎会	1) 年2回（8月末、1月末） 2) パソコンの抽選プログラムにより寄稿者を選出。 3) 8月末号・総会議事録・総会時の法務局長の祝辞・よもやま話（会員寄稿者） 1月末号・新年のあいさつ（法務局長、会長、公嘱理事長）・よもやま話 ・レクリエーション報告等
鹿児島会	会報かごしまを春と秋の年2回発行。発行部数1回につき550部、費用24万円。
沖縄会	沖縄会では、例年モノクロ印刷でしたが、前回の担当者会同で熊本会のカラー印刷の会報を見せていただき、一昨年から写真のみカラー印刷で発刊すると会員から好評を得ることができています。ただし、内容は以前と変わり映えしていませんが、会員からの寄稿がなかなか得られず悩んでいるところです。
福岡会	年1回会報を作成しています。今年度は70周年記念誌を作成しています。
長崎会	会報の発行は、コロナ禍で部会開催が難しくなり現在中断しております。会報にかわり、毎月のマンスリーメールを配信中
佐賀会	佐賀会 年1回発刊。当日持参いたします。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	熊本会
8	会報の特集企画などがあれば教えていただきたい（熊本会会報は、来年夏号で300号をむかえ、特別号の検討をしているため）
まとめ	企画アイデアはどこも苦慮していて、熊本会提案の議題にうまくまとめ回答できずすみませんでした。
提案理由	
大分会	昨年は70周年記念として会の沿革や歴代会長の紹介等を時系列で写真付きで詳細に記載しました。刊行の記念であれば創刊号や節目の号の表紙や内容紹介等はいかがでしょうか。
宮崎会	特集企画はありません。
鹿児島会	鹿児島会は今秋号で100号になるが、特になし。
沖縄会	沖縄会では、特に特集号等の発刊を考えたことはありません。
福岡会	70周年記念誌を作成しています。
長崎会	ありません
佐賀会	佐賀会 各支部より会報編集委員を選定し、企画などはその編集委員にお任せしている。特別号などの特集号は発刊したことがない。

提案会	宮崎会
9	1) 年間の発行回数 宮崎会では年2回。各会における発行回数を教えていただきたい。2) 寄稿者の募集方法について 寄稿者の募集については、各会とも苦労されているのではないかと思います。各会で、募集について工夫していることがあれば教えていただきたい。3) 記事内容について 記事内容がマンネリ化してきています。各会において、どのような記事を掲載しているかお聞きしたい。
まとめ	各会のさまざまな実施方法ありがとうございます。
提案理由	
大分会	1) 年1回 2) 寄稿以外にも取材形式などの形態も検討してます。コロナ禍で時勢的に難しい面もありますが。 3) 近年の記事内容としては支部活動紹介（旅行等）、会員の趣味（登山やスポーツ）、技術的な紹介（ドローン、GNSS等）、女性会員からの提言的な記事等です。
熊本会	1) 年2回（8月、1月）発行発行部数400部。 2) 支部の広報委員が1つ以上記事を出すようにしている。広報委員が書いても良いし、支部会員に寄稿してもらってもよいが、どうしても、記事を書くのが好きな会員、苦手な会員がいて、作業量がどうしても偏りがちになっている。 3) 記事の内容については、広報委員会で、年間行事等、次号記事の内容と割り振りを決めている。寄稿者はほとんど広報委員となっている。 内容は、年間行事の報告、研修会、支部、公嘱、青年会の活動報告がメインとなっている。また、役立つサイトの紹介、趣味や、家族のエピソードなど内容をしばらく「サロン」の記事もある。また、文章を書くのが苦手な人は写真メインでも構わないとして、気軽に寄稿できるよう心がけている。
宮崎会	1) 年2回（8月末、1月末） 2) パソコンの抽選プログラムにより寄稿者を選出。 3) 8月末号・総会議事録・総会時の法務局長の祝辞・よもやま話（会員寄稿者） 1月末号・新年のあいさつ（法務局長、会長、公嘱理事長）・よもやま話 ・レクリエーション報告等
鹿児島会	春と秋の年2回発行。1回につき会員と各市町村、各種団体等配布する合計が550部。年男年女、リレー投稿（次の執筆者を指名）等により寄稿者を募っている。記事内容のマンネリ化は否定できない。
沖縄会	1) 沖縄会では、例年11月と4月に発行していましたが、モノクロから一部カラー印刷へしたり、予算の削減もあったため現在は年1回の発行にしています。 2) 会員への寄稿依頼はお願い文書を全会員へメールしていますが、集まりは無茶苦茶悪いです。過去に寄稿していただいた会員への一本釣りをしているのが現状で、改選期には新役員に強制しています。 3) スナップ写真をできるだけ載せるようにしたり、何かで表彰された会員とか新聞に掲載された会員へインタビューしてその内容を掲載するようにはしています。
福岡会	(1) については年1回。(2) (3) は新人会員のページを作成し、新人会員へ寄稿を求めています。
長崎会	会報は現在中断
佐賀会	佐賀会 1) 年1回。2) 思惑とおり大変苦慮しております。佐賀会では年男年女は半ば強制的に寄稿してもらい、寄稿いただいた方には図書券（2000円）を進呈しております。それでも足りない場合は会報編集員自ら強制的に寄稿してもらってます。3) マンネリ化は否めません。基本的には個人批判などを除いて、どんな寄稿でも自慢話でも乗せるようにしております。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	大分会
10	会報の内容充実のための方策
まとめ	各会のさまざまな実施方法の提供ありがとうございます。
提案理由	大分会は年一回の発行で法務局長、常任理事等への寄稿依頼と会員の会員活動（事務所経営、趣味等）のトピックなどを中心に構成していますが、県立図書館に寄贈してる関係で関係者以外向けの内容を充実できればと思ってます。
	・原稿依頼型以外にも取材型で内容に膨らみを持たせる・調査士目線での問題提起や情報収集をする等考えてますが、他会の皆さんの取り組みやアイデア等に関心があり、ご意見お伺いしたいと考えます。
熊本会	まずは会員に手に取ってもらい、楽しんでもらえる会報を心かけている。カラーページにしたことで、風景など色が生きる写真の寄稿が増えたような気がする。 読んでためになる内容（役立つサイトや、法改正の解説）を多く盛り込みたいと考えている
宮崎会	
鹿児島会	各市町村、各士業、団体等に219部配布している。関係者以外の方々に興味をもってもらえるような内容にできればと思っています。
沖縄会	被害にあった方には申し訳ないのですが、私の独断でスナップ写真に面白いコメント等を入れたりしています。
福岡会	各地区のボランティア活動の記事を各支部に募り、掲載しています。投稿した支部へは原稿料を支出しています。
長崎会	会報は現在中断
佐賀会	佐賀会 佐賀会でも年1回で同様の内容です。これと言った具体策は模索しておりません。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	鹿児島会
11	・年何回の発行でしょうか。・発行部数は何部ですか。・会員以外の配布先・紙の冊子にしているか、ペーパーレス（ホームページ掲載等）であるか。
まとめ	ペーパーレスの発刊を検討するもなかなか実施に至らず会報は紙の刊行が現状のようです。今後の取り組みに期待
提案理由	
大分会	7. 以外として・・・配布先→法務局（支局分含む）、日調連、広告主、公共施設（県立図書館外ライブラリーのある2施設）等に配布してます。紙媒体として刊行してます。
熊本会	・年2回（8月、1月）発行発行部数400部。 ・管轄の法務局、支局、日調連、他県会、熊本県内他土業事務局 ・紙冊子 HPにも掲載
宮崎会	・年2回（8月末、1月末） ・各300部 ・配布先 会員、法務局（12冊）、日調連（64冊） 公嘱協会（1冊）、都城事務局（1冊）
沖縄会	沖縄会では、原則年2回ですが、ここ2年は年1回になっています。 1回の発行部数は200部で、会員以外には法務局、官公署の担当部署へ配布しています。 紙印刷で、ホームページにも掲載するようにしています。
福岡会	年1回、紙の冊子で700部発行しています。
長崎会	平成30年まで年2回発行。平成31年から令和元年まで年1回発行と年1回HP掲載。 令和2年から現在まで中断。
佐賀会	佐賀会 年1回発刊。部数は約170部（各会員120名、日調連、法務局）。冊子のみでホームページでの掲載は行っていない。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	佐賀会
12	ホームページへの対応についての報告をお願いしたい。
まとめ	現状の取り組み報告をいただきました。（後日談、福岡会報告として連合会はフェイスブックによる広報を開始しています。今後の取り組みの参考になればとおもいます）
提案理由	
大分会	運営管理はホームページ運営委員会規則、ホームページ利用規約に沿ってます。現HPは2014年に作成し必要に応じて更新。今年度はHPPS化を行いました。
熊本会	ホームページは総務部事業となります
宮崎会	会員名簿の変更、お知らせなど軽微な変更については、事務局にて対応。 新しいページの作成、レイアウトの変更を伴うものなどについては、業者に依頼。
鹿児島会	外部の専門業者に指示して掲載内容を更新するようにしているが、有意義に機能していないのが現状。
沖縄会	沖縄会では、これまで日調連のホームページに倣って面白みのない画面、内容でしたが、現在他会のホームページを参考にさせていただき見直しをしているところです。 ホームで一般向けと会員向けへのお知らせを分け、会員向けには各部会からの情報をメール、連絡文書だけではなくホームページでも逐次発信するようにしています。
福岡会	現在、県会ホームページに相談Q&Aのコーナーを設置検討しています。
長崎会	新情報を随時掲載
佐賀会	佐賀会 最近では一般の方からの問い合わせのフォームにしか利用していない。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	沖縄会
13	ホームページでCPDポイントの公開をしている場合に、どのように公開していますか。例えば、会員名簿とリンクさせている等。
まとめ	CPDポイントの公開について各会から報告をいただきました。
提案理由	沖縄会では、会員や一般の方に広くホームページにアクセスしていただけるよう現在ホームページのレイアウト、内容等の見直しをしているところですが、会員名簿と研修等で取得したCPDポイントはリンクさせないで、研修部等がまとめたエクセルの表をそのまま張り付けています。ただ、以下の疑問があり、他会ではどのようにしているのかを教えていただき参考にさせていただければと考えています。（どこの会かは分かりませんが、名簿とリンクさせてどのような研修を受けたかまで公開しているところがあると聞いた覚えがあります。）
	1. 一般の方にはCPDポイントとは何か分からないのではないかな。
	2. 個人情報保護法との関係は大丈夫なのか。
大分会	1.)大分会では全体研修の参加を対象として「研修会参加状況」という文言で、ポイントではなく出席時間を記載してます。（参加時間/全体時間） 2.)3.)連合会HPの会員検索記載分については同意を得た会員のみ記載してます。原則として連合会研修部による土地家屋調査士CPD制度の「概要」と「Q&A」に沿うべきと考えます。
熊本会	ホームページは総務部事業となります
宮崎会	・宮崎会のホームページ内ではCPDポイントを公開していません。 ホームページ内の情報公開にCPD公開について掲載しており、そこから、日調連のCPD公開ページにリンクさせています。
鹿児島会	ホームページに外部の誰でも閲覧できるように会員名とCPDポイントを掲載している。CPDポイントは研修等に参加して日々業務の研鑽に努めている旨記載している。公開する範囲については検討が必要。
沖縄会	沖縄会は、提案理由のとおりです。
福岡会	CPDポイントは会員情報の中に各個人毎に明示しています。尚、非公開希望の会員については明示を避けています。
長崎会	長崎会では非公開にしています
佐賀会	佐賀会 連合会の検索画面にリンクさせているのみ。

提案会	佐賀会
14	各単位会での出前授業等の広報活動についての現状を知りたい。
まとめ	「土地家屋調査士」という資格の広報案内、低学年向の活動、職業訓練としての活動とさまざまな実施報告がありました。
提案理由	
大分会	平成20年頃よりほぼ毎年、小中学校への出前授業（体験学習、経緯度標寄贈や「じめんのボタンのなぞ」読み聞かせ等）行ってきましたが昨年よりコロナ禍により行ってません。
熊本会	<p>小学校6年生を対象とした「地上絵プロジェクト」を実施。内容は、座学とグラウンドでの星形の素描、GPSを使用した宝探しを行っています。小学校6年生の算数の授業で縮図と拡大図を履修するタイミングにあわせて、毎年10～11月に実施しています。教室で、紙に直径20cmの星形を書かせ、その後グラウンドでTSを使い、50倍の星形を完成させます。GPSをつかった宝探しでは、オンライン授業で児童が使用するタブレットのGPS機能なども使いながら、行います。</p> <p>（業務研修部事業ですが）九州測量専門学校での出前講座（座学1コマ）も実施しておりましたが、今年度はコロナ禍の為中止</p> <p>熊本県内の工業高校での出前講座（座学1コマ）今年度実施予定</p>
宮崎会	小学生、高校生を対象にした地上絵プロジェクト
鹿児島会	業務部や社会事業部ともリンクするが、鹿児島刑務所で受刑者への測量士補受験講座に会員調査士を講師として派遣している。またキャリア論講義として、鹿児島大学で土地家屋調査士の業務内容、試験内容について講義した。
沖縄会	沖縄会は、定期的に官公署や学校と提携して行ってはいません。要請があった時に個別対応しています。
福岡会	西南学院大学で社会連携講座を実施しています。
長崎会	出前授業として年1回、鹿町工業高等学校に行き土木技術科測量部へ測量指導を行っています。又、コロナ禍以前は、小学校に行き地上絵プロジェクトを行ってありました。
佐賀会	佐賀会 数年前から佐賀県内の工業高校（唐津工業高校、鳥栖工業高校どちらも建築科）において出前授業を年1回行っている。約2時間程度コマをいただいているので、1コマは教壇で土地家屋調査士についての経験談や講義、1コマはトランシットを数台持ち寄り測量実習講義を行っている。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	福岡会
15	社会連携講座の実施をお聞かせください。
まとめ	提案内容が他の議題と重複していて14, 16, 17のまとめと一緒に
提案理由	
大分会	一般向け講座は特に行ってません。(公嘱協会は官公庁・一般向けセミナーを年1回行ってます。)
熊本会	質問16の回答と同じ
宮崎会	社会連携講座は社会事業部にて対応しています。
鹿児島会	鹿児島大学でのキャリア論講義で、土地家屋調査士の業務内容について講義。
沖縄会	沖縄会では、社会連携講座等は実施していません。
福岡会	福岡会の提案です。
長崎会	実施なし
佐賀会	佐賀会 出前授業以外の講座は行っていないが、講義依頼があれば行いたい。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	宮崎会
16	大学で講義を行っている会もあると聞いています。 大学での講義内容などを教えていただきたい。
まとめ	福岡会から現在実施の資料を提供しました。またさまざまな情報提供がありました。
提案理由	
大分会	会としては行ってませんが災害時の技術者育成を目的とした団体に所属し職業紹介的な授業を大分大学で行っている会員もいます。
熊本会	<p>(社会事業部の事業ですが) 毎年、熊本大学法学部後期に2コマ実施しています。</p> <p>熊本県の専門8土業連絡協議会の事業として、2コマ×8土業 合計16コマ、オムニバス形式の講座を持っています。</p> <p>内容は、土業のPRがメインとなっています。受講者は講義終了後に感想文を提出することで2単位がとれるので、かなり人気の講座のようです。女生徒の受講者が比較的多く、できれば女性の講師をと大学側からお願いされています。</p> <p>昨年度、本年度は、ズームを使ったオンライン授業となり、受講生の顔が見えない講義となっていますが、1回目講座後の感想や質問を2回目に回答しています</p>
鹿児島会	鹿児島大学で実施。業務内容や顧客、経験、やりがい、試験内容を講義。
沖縄会	沖縄会では、大学での講義等はありません。
福岡会	今年度の講義内容と回数を別紙につけています
長崎会	大学での講義はしていない
佐賀会	佐賀会 高校のみしか行っていない。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	熊本会
17	熊本会では、熊本大学での講義、測量専門学校への出前事業、地上絵プロジェクトなど、将来の土地家屋調査士となる人財にむけて広報活動を行っているが、他県ではどのような事業をおこなっているか、具体的におしえていただきたい
まとめ	「土地家屋調査士」という資格の広報案内、低学年向の活動、職業訓練としての活動とさまざまな実施報告がありました。
提案理由	
大分会	16の回答のとおりです
宮崎会	地上絵プロジェクト
鹿児島会	業務部や社会事業部ともリンクするが、鹿児島刑務所で受刑者への測量士補受験講座に会員調査士を講師として派遣している。またキャリア論講義として、鹿児島大学で土地家屋調査士の業務内容、試験内容について講義した。
沖縄会	沖縄会では、将来の土地家屋調査士となる人材に向けての広報活動は行っていません。個人事務所が単独で補助者等に勉強の場所や学費援助をしているのが現状です。
福岡会	16、宮崎会の協議案に記載しています
長崎会	出前授業として年1回、鹿町工業高等学校に行き土木技術科測量部へ測量指導を行っています。又、コロナ禍以前は、小学校に行き地上絵プロジェクトを行っておりました。
佐賀会	佐賀会 工業高校への出前授業のみです。あと会に申出はありませんが、インターシップの受け入れを地元の調査士が行っております。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	佐賀会、沖縄会、福岡会
18	土地家屋調査士制度70周年記念事業の対応についての情報を知りたい。
まとめ	建造物の3Dスキャナデータを作成し、県へ授与する等盛大な取り組みの報告がありました。メディアの取材と広報効果絶大で感動しました
提案理由	
大分会	70周年記念号として例年の2.5倍程度の頁数で会報を発行、記念事業として中津市にある福沢諭吉旧居の建物表題登記と3Dスキャナーによる3次元データの作成等を行いメディアに紹介されました。
熊本会	1、路線バスのラッピング広告 2、国指定重要文化財である 熊本県山鹿市「八千代座」の3D測量と、データの寄贈 (寄贈先 熊本県 山鹿市 八千代座)とマスコミへの情報提供 昨年度事業で行いました
宮崎会	実施したもの ・登記創造プロジェクト ・新聞広告 ・調査士ジャケットの作成 中止したもの ・シンポジウム ・レクリエーション ・祝賀会 ・地上絵プロジェクト
鹿児島会	ドローンを使用して、移転予定の鹿児島地方法務局庁舎の3D模型を作成して贈呈した。
沖縄会	沖縄会では、そもそも周年事業の周期が復帰後からになるので特に対応はしていません。 日調連の要請に答える形で協力はしています。
福岡会	今年11月11日に研修会とからめ、記念講演開催、記念誌、記念グッズを作成しています
長崎会	去年記念事業を予定していたが、コロナにより中止。今年の事業計画はありません
佐賀会	佐賀会 業務部を中心として広報部、研修部、補佐のもと、改修工事が予定されている記念体育館（市村記念体育館）の3Dスキャナー測量を行い、成果は佐賀県庁へ無料提供を行った。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	熊本会
19	ノベルティグッズを良ければみせていただきたい。活用方法、製作した個数や価格もおしえていただきたい。
まとめ	佐賀会よりクリアファイル、付箋紙セットのサンプル提供があり提供方法も出前講座参加者へと大変参考になりました。長崎会の回答ありがとうございました
提案理由	
大分会	作成しておりません。
宮崎会	ノベルティグッズはありません。
鹿児島会	なし。
沖縄会	沖縄会では、グッズ等を製作していません。
福岡会	70周年記念品は現在注文中で現物はありませんが、ボールペン780円のを700本注文しています。
長崎会	<ul style="list-style-type: none"> ・土地家屋調査士会名入りポロシャツ、ジャンパー、タオル、ウレタンマスク、ティッシュ ・ポロシャツ、ジャンパーは会員に販売。販売価格はポロシャツ3千円、ジャンパー5千5百円。 ・タオル(800枚×151円)、ティッシュ(2000枚×数十円)はイベントや出前授業に無料配布 ・ウレタンマスクは会員に無料配布
佐賀会	佐賀会 クリアファイル、付箋紙セットを作成し、出前授業の生徒達に配布している。単価はクリアファイルは50円/枚、付箋紙セットは330円/個です。当日持参いたします。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	福岡会
20	各県会のイメージキャラクターをもちっていますか。
まとめ	今後のとりくみに期待
提案理由	福岡会で取り組みをしていませんが他会にて実施している会があればお知らせください
大分会	持ってません。
熊本会	特になし
宮崎会	ありません。
鹿児島会	なし。
沖縄会	沖縄会では、イメージキャラクターを作っていません。
長崎会	長崎会オリジナルはありません。長崎地方法務局イメージキャラクター「ジャッ君」を使用することもあります
佐賀会	佐賀会 キャラクターは持ってありませんが、イラストは持っています。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	長崎会、宮崎会
21	・コロナ禍の中、前年度より事業計画を変更した会もあると思いますが、あれば変更した部分を教えていただきたい。又、新たな広報活動があれば、参考にしたいので教えていただきたい。
まとめ	原則事業変更はなし、というもののコロナ禍により縮小または中止と手間は二重三重となった。
提案理由	
大分会	昨年度は70周年記念事業を上記のとおり行い、今年度はコロナ禍による出前授業等の対外活動を見合わせた事業計画を行いました。
熊本会	変更はありません。今年度、A1ポスターを制作し、会員に頒布、関係官公庁に掲示のお願いをしました。ノボリを新しくし、支部に配布しました。
宮崎会	地上絵プロジェクトは中止。 無料相談会は、感染対策を行い実施。
鹿児島会	感染対策をした上で実施。
沖縄会	沖縄会では、例年通りの事業計画で、特に変更等はしていません。
福岡会	緊急事態宣言下では会場側の意向もあり無料相談会中止。尚実施したときは電話により相談会をおこないました。
長崎会	長崎会では、内部的な活動として年に1~2度「会報ながさき」を発行していましたが、部会開催が困難であるため、かわりに「マンスリーメール」を毎月配信しております。 又、広報活動としてコロナ禍以前の2019年まで、ラブフェスというイベントに協賛し、この関連でラジオ、テレビCM及びイベントブース出店をしていました。昨年、イベントが開催されませんでした。今年の開催は現時点で未定ですが、別のイベント協賛を検討中です。
佐賀会	佐賀会 基本的にはコロナ禍の影響で変更や中止にしたイベント等はありません。規模縮小にはなりました。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	福岡会
22	コロナ禍の下、無料相談会をどのように開催されましたか。
まとめ	類似の提案があり4, 21, のまとめに記載した
提案理由	福岡会では、相談を予約制とし、電話対応で実施しました。
大分会	無料相談会としては現在調査士の日のみしか行っておらず4の回答のとおりです。【社会事業部】
熊本会	土地家屋調査士の日無料相談会は中止。そのほかの相談会は面談相談については事前予約制とし、電話相談は通常通り行いました
宮崎会	事前予約制とし、対面にて実施。
鹿児島会	感染対策をした上で実施。
沖縄会	沖縄会では、電話による事前受付をし、後日近くの協力会員の事務所へ出向いてもらって無料相談を実施しました。
長崎会	一部事前電話予約制にした
佐賀会	佐賀会 例年通りに開催いたしましたが、会場の手配に大変苦慮しました。電話対応は行っておりません。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	沖縄会
23	日本土地家屋調査士会連合会土地家屋調査士制度制定70周年記念に係る「登記制度創造プロジェクト」案への対応はどうされていますか。
まとめ	登記創造プロジェクトについて回答のとおり様々な取組報告がありました。
提案理由	沖縄会では、日調連土地家屋調査士制度制定70周年記念に係る「登記制度創造プロジェクト」案として「土地家屋調査士業務におけるQRコード活用の可能性」と題する研究をおこないましたが、最終的に完成させたわけではありません。今年2月にアンケートには回答しましたが、今後日調連から完成版の提出を求められるのかどうかも分からないため小休止の状態です。日調連に聞くと藪蛇になりそうで問い合わせもしていません。
大分会	18. のとおり、中津市、法務局の協力のもと中津市にある福沢諭吉旧居の建物表題登記と3Dスキャナーによる3次元データの作成等を行いました。
熊本会	熊本会では、国指定重要文化財八千代座の3Dデータの作成を行っております。3Dデータ、KMLデータとして保管していますが、日調連からの問い合わせは来ていません。
宮崎会	・宮崎県庁を調査。建物図面・各階平面図、調査報告書等の表題登記の必要書類を作成し、宮崎県へ納品。表題登記をするかについては、宮崎県が判断し行う。
鹿児島会	なし。
福岡会	地積測量図、建物図面にQRコードを記載し図面から空中写真情報などが閲覧できるようにしたものを連合会へ提出しました。
長崎会	諫早駅周辺整備事業で建て替えが進む新駅舎を立体的にデータ化する3次元(3D)測量を実施した。このことは、長崎新聞に掲載されました。
佐賀会	佐賀会 業務部を中心として広報部、研修部、補佐のもと、改修工事が予定されている記念体育館(市村記念体育館)の3Dスキャナー測量を行い、成果は佐賀県庁へ無料提供を行った。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	佐賀会
24	テレビ出演やラジオ出演の各会の現状を知りたい。
まとめ	今後のとりくみに期待
提案理由	
大分会	会としては特にありません。
熊本会	テレビ・ラジオ出演、CMは実施していません。
宮崎会	メディアへの出演はありません。
鹿児島会	なし。
沖縄会	沖縄会では、テレビ、ラジオ等情報伝達機関への出演は行っていません。
福岡会	実施していません。
長崎会	会長（個人的に）が、随時ラジオ出演しています。（佐世保はっぴい！FM）
佐賀会	佐賀会 7/31の全国一斉無料相談会のテレビ出演のみ。数年前にラジオ出演にて告知を行ったが、出演料を取られた上に、さほどを効果が薄かったのでラジオ出演は取りやめにした。

記録者 座長 福岡会 野田馨

提案会	佐賀会
25	広報活動予算について情報交換したい。
まとめ	貴重な情報提供ありがとうございます
提案理由	
大分会	ここ数年は概ね140万円で推移しており、概算で広告費10%、部会・HP管理に40~50%、会報に40~50%というところです。
熊本会	今年度予算は3275320円。昨年度からのリモート会議を継続することで会議にかかる費用が抑えられています。
宮崎会	収入 会報広告料 ¥155,500- 支出 会報出版費 ¥410,000- 広告宣伝費 ¥450,000- (ホームページ管理費¥6,600×12か月=¥79,200-)
鹿児島会	150万円。
沖縄会	沖縄会では、無料相談会の広報予算が約40万円(但し今年は100万円)、会報発行の予算が約35万円、部会等の活動費が約5万円で、総額約80万円を毎年予算化してもらっています。その他では、広報部としての予算ではありませんが、ホームページの管理費や他の部との連携で広報の一部として約10万円ほどが支出されています。
福岡会	年間予算は300万円程です。
長崎会	R3 広報部会費 ¥400,000-、 啓発諸費 ¥2,300,000-
佐賀会	佐賀会 収入の部、会報広告料20万円 支出の部、広報費124万円 部会費12万円